



Policy

基本方針

河川改修では、委員会での提言を参考にして以下の3つの項目を基本方針として、治水と環境の調和を目標とします。

多自然型川づくりの採用

①自然景観との調和

コンクリート護岸を避け、植生の回復が可能な多自然型護岸を採用します。

②自然植生の保全

低水路の変形は、自然の営力に任せることにし、水際の自然植生を保全した改修断面を採用するとともに、可能な範囲で高木等を堤防に植樹します。

③魚道の設置

堰の改築においては、アユなどの魚が遡上しやすいように、魚道を設置します。

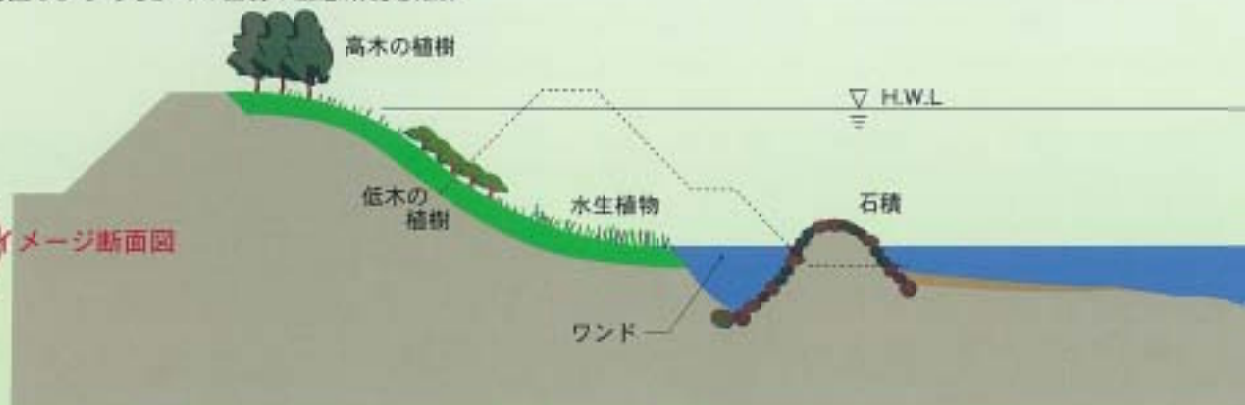
多自然型断面イメージ



ワンドの創出、淵の保全

旧河道の一部を利用したワンド(節水域、よどみ)の創出、良好な淵の保全を図り少しでも多くの生物の生息環境を確保します。

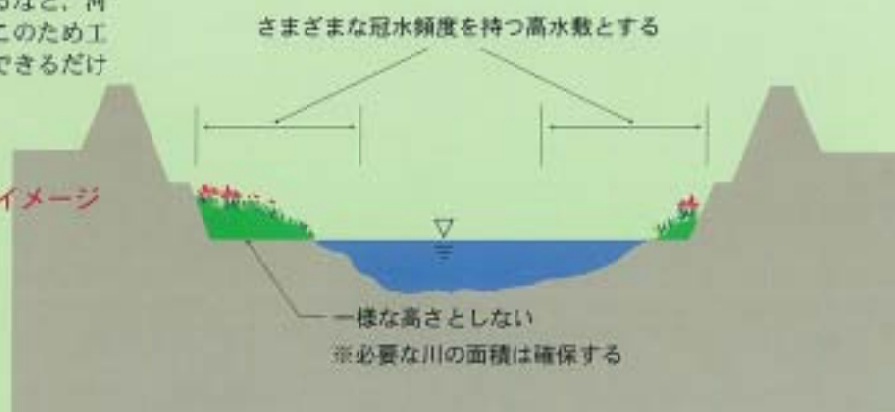
ワンドイメージ断面図



河口付近の環境の維持

八坂川河口には、アサリやカブトガニが生息するなど、河川と干潟をつなぐ良好な環境を持っています。このため工事による下流への土砂の流出を抑制した工法をできるだけ採用します。

断面形状整備イメージ



OUTLINE

事業の概要

- 事業名／基幹河川改修事業
(八坂川水系八坂川)
- 全体計画／L=4,600m
(ショートカット区間 L=1,600m)
- 全体工事費／12,300,000千円
- 工 期／昭和39年～平成20年度

八坂川は、杵築市の本庄・中地区で大きく蛇行し、かつ河積が狭いので、大雨の度に氾濫しており、特に平成9年の台風19号および平成10年の台風10号では、周辺農地はもとより人家に至るまで多大な浸水被害を被りました。

河川改修事業は、昭和39年度より進められ、下流の1,200mは完了していますが蛇行部のショートカット区間になって、地元の利害関係が絡み遅々として事業が進まない状況でした。

しかし、いろんな人達の努力によって、平成4年に、河川改修と圃場整備を一体的に実施するとともに、地区の住環境も合わせて整備するということで、おおかたの同意を得ることが出来ました。

八坂川河川改修

環境影響調査検討委員会

八坂川河口部に広がる守江湾の干潟には、生きている化石といわれ、学術的にも価値が高いカブトガニや様々な干潟生物が生息しています。同時に干潟周辺は、アサリ、ハマグリ、海苔などの漁場として地域の産業を支える場でもあります。

こうした状況の中、河川改修による環境への影響が懸念されたため、平成8年度に「八坂川河川改修環境影響調査検討委員会」を設立し、2カ年にわたり本格的に調査検討を行いました。

この委員会は、生物・工学の学識経験者と事業の関連する行政の専門家らで構成され、カブトガニを干潟の代表する生物(環境指標)と位置づけ、河川改修を前提として河口および干潟の環境条件について審議のうえ、以下の提言をいただきました。

委員会での提言

- 1.多自然型川づくりの採用
- 2.ワンドの創出、淵の保全
- 3.カブトガニ産卵地のミティゲーション
(河川改修による影響の緩和、代償、軽減措置)
- 4.河口付近における環境の維持



委員会の開催状況

八坂川



平成9年9月16日 台風19号 洪水状況



平成9年9月16日

画概要平面図



主要地方道大田杵築線



出水状況 平成9年9月16日 台風19号 出水状況

平成9年 台風19号 浸水状況

浸水区域		
床上	住家(戸)	109
	非住家(戸)	28
床下	住家(戸)	145
	非住家(戸)	17
総浸水家屋数(戸)		289
田畑冠水(ha)		210

ショートカット区間 L=1,600m

全体計画延長 L=4,600m



山下町を

確定場の基





たバラベツト

凡例

- 築堤(計画)
- 築堤(完成)
- 橋
- 堰・落差工
- 内水河川
- 排水樋管



守江湾に生息するカマドガニ

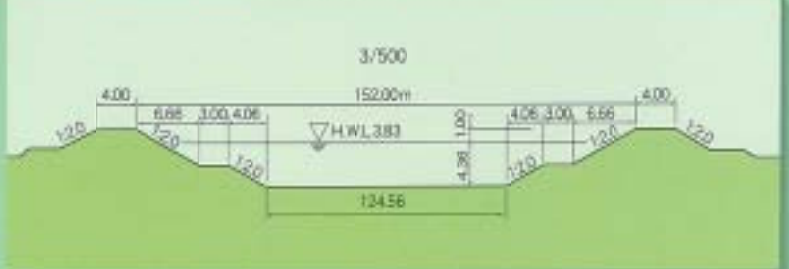


◎作楽市役所

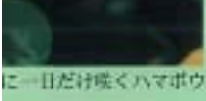


河川の状況及び計画の概要

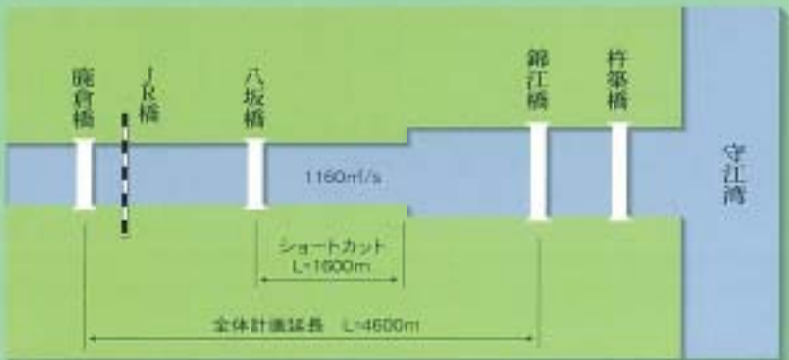
- | | |
|-------|--|
| 河川の現状 | <ul style="list-style-type: none"> ●流域面積：A=147.7Km² ●流路延長：L=29.8Km ●河床勾配：I=1/300~1/800 |
| 計画の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ●計画延長：L=4,600m(ショートカット区間 L=1,600m) ●計画流量：Q=1,160m³/s ●計画規模：W=1/70 |



八坂川の名勝 身投げ石



こ一日だけ咲くハマボウ



OUTLINE

概要

ほ場整備事業の概要

河川改修と一体でほ場整備を実施し、優良農地の確保に努めていますが、集落営農にも取り組むため、区画割の大きな(2ha)ほ場整備になっています。また、換地により住宅・公園・農業施設用地などを創りだし、周辺の集落道を整備して、地域住環境の快適性の向上と活性化を図っていきます。

- 事業名/農村活性化住環境整備事業
- 全体整備面積/面積A=93.9ha
- 工期/平成5年～平成14年度(予定)



ほ場整備の完成予想図

REMAINS

発掘

文化財の発掘

ショートカット部にあたる本庄・中地区において、八坂久保田遺跡、八坂本庄遺跡、八坂中遺跡が確認されました。これらは、八坂川の度重なる洪水の結果埋没したものです。発掘調査は、57,400㎡にも及び、平安時代から戦国時代にかけての水田跡や集落が検出されました。



大分県土木建築部河川課

〒870-8501

大分市大手町3丁目1番1号
TEL097-536-1111代



大分県

大分県別府土木事務所

〒874-0840

別府市大字鶴見字下田井14-1
TEL0977-67-0215(河港砂防課)